

万葉のふるさと 国府創生会

宇倍神社参道脇にサロンを整備
カフェや特産品販売などに活用

地域ににぎわいを呼び込もうと、因幡一宮の宇倍神社(鳥取市)の近隣住民らで結成した。参道脇に整備した「交流サロン一の宮」を、カフェや地産品販売、ものづくり教室など多目的に活用する。気軽に立ち寄り、語り合う憩いの場として、地元住民や観光客らに親しまれている。

約60平方メートルある1階の居間や台所などを全てつなげて20席配置できる交流スペースにした。会員が交代で店に立ち、ボランティアで運営する。

店内では、カフェのほか、敷地内のビニールハウスで栽培する野菜「アイスプラント」、町内産ケチャップや蜂蜜などの加工品を販売。月1回



お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむ町内の女性たち



バルーンアートを楽しむ参加者

の店頭地産市や和紙折り紙教室などイベントも企画し、サロンの利用促進も図る。

参道のそばにありながら、観光客の滞在時間が短いこともあり、来店客の9割は地元住民。観光客や若者をどう呼び込み、交流するかが今後

の課題だ。

同会ではこのほか、因幡国庁跡や大伴家持歌碑など町内の史跡を巡るクイズラリーを新たに計画するほか、国府町観光大学を設けて国府町観光マイスターや観光ガイドの養成を行っている。



地域の交流を大切にしながらさまざまな人が集う拠点となり、万葉のふるさと国府町のにぎわいや魅力発信につなげたいと思います。



理事長
上山 忠久さん

